

## India Hamamatsu Advisory Committee の概要

## &lt;目的&gt;

インドと浜松を代表する経営者で構成する会議体

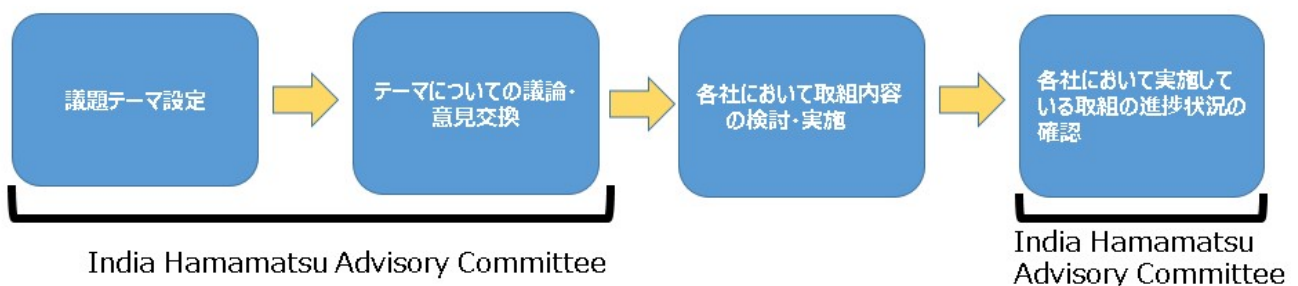
- ①本市の実施するインド浜松経済交流推進事業の5本柱（Ⅰ海外展開、Ⅱ新事業展開、Ⅲスタートアップイノベーション、Ⅳ人材獲得、Ⅴ企業市民間の交流促進）※への助言をもらう。
- ②浜松の経済界とインドの経済界をつなぐ場を提供し、情報共有と人的ネットワーク構築を通じて各社のビジネス展開を促進する。

Ⅰ 海外展開	インド展示会へ出展、ビジネスミッション団派遣、輸出商社マッチング
Ⅱ 新事業展開	インド企業との協業による新事業の創出支援
Ⅲ スタートアップイノベーション	日印のスタートアップとの交流イベント開催、Bharat Immersion Program への職員派遣、Learn in Bharat への参加
Ⅳ 人材獲得	高度・ミドル人材受入、技能実習・特定技能人材の受入
Ⅴ 企業市民間の交流促進	カイトフェスティバルや日印交流イベントへの参加、アーメダバード市関係者等の訪問受け入れ

## &lt;活動内容&gt;

- ・設定した議題テーマごとに議論・意見交換を実施。（必要に応じて小グループでの議論を実施）
- ・会議は意見交換の場とし、施策の実施にあたっては各主体が判断する。
- ・セミナーの開催など市内企業に対して幅広く情報を提供することを検討する。

【参考】上記目的②の活動フロー図



## &lt;開催方式&gt;

対面開催2回・オンライン開催2回

## <委員構成>

-委員長：浜松市長

-副委員長：Mohandas Pai 氏（Infosys 元 CFO / Aarin Capital 会長）

-モデレーター：Next Bharat Ventures 取締役 齊藤 欽司

-モデレーター：浜松市産業部長

### ◆インド側委員

-Anjali Bansal 氏（Avaana Capital 創業パートナー / マルチ・スズキ等 社外取締役）

-Pramod Varma 氏（インドのデジタル公共基盤 Aadhaar やUPI の開発責任者）

-Nirmal K. Minda 氏（インド大手自動車部品メーカーUno Minda 会長）

-Vipul Nath Jindal 氏（Next Bharat Ventures CEO）

### ◆浜松市側委員

-株式会社エフ・シー・シー 代表取締役社長 齋藤 善敬

-遠州鉄道株式会社 代表取締役社長 丸山 晃司

-静岡大学工学部 工学部長 福田 充宏

-有限会社春華堂 専務取締役 間宮 純也

-スズキ株式会社 代表取締役副社長 社長補佐 石井 直己

-株式会社ソミックマネジメントホールディングス 代表取締役社長 石川 雅洋

-ヤマハ株式会社 取締役代表執行役社長 山浦 敦

-ヤマハ発動機株式会社 執行役員 人事総務本部長 岡本 知彦